

Hungary

～在ハンガリー日本国大使館～

2016年10月

—Monthly Review—

全14頁

政治・経済月報(2016年9月号)

政治・内政

- [国民投票を巡る政府キャンペーン](#)
- [ブダペスト市内における爆発事件の発生](#)

経済

- [中央統計局：第2四半期実質GDP成長率2.6%増（確報）](#)
- [スタンダード&プアーズ社：ハンガリーの格付けをBBB-に格上げ](#)

○インフレ率	(y/y)	(2016年8月)	▲0.1% (食品：+0.6% エネルギー：▲0.1%)
		(2015年平均)	▲0.1% (食品：+0.9% エネルギー：▲2.9%)
○賃金上昇率	(y/y)	(2016年1-7月平均)	+5.9% (民間：+5.2% 公的：+7.6%)
		(2015年平均)	+4.2% (民間：+3.9% 公的：+5.1%)
○鉱工業生産	(y/y)	(2016年7月平均)	▲4.7%
		(2015年平均)	+7.5%
○小売売上高 (暦調整後)	(y/y)	(2016年7月平均)	+2.9%
		(2015年平均)	+5.6%
○失業率(15-74歳)		(2016年6-8月)	4.9%
		(2015年平均)	6.8%
○政策金利		(2016年9月末)	0.9% (9月20日：据え置き決定)
○10年国債利回り			2.87%
○為替相場		(2016年9月末)	・1ユーロ = 309.15 フォリント
			・1ドル = 276.35 フォリント
			・100円 = 273.53 フォリント

《今月のトピックス》

I 内政

- [1 移民・難民問題を巡る国内の動き](#)
- [2 世論調査：国民の58%が2024年オリンピックのブダペスト招致に賛成](#)
- [3 ブダペスト市内における爆発事件の発生](#)

II 外交

- [1 オルバーン首相：セルビア訪問](#)
- [2 シーヤールトー外務貿易相：ルクセンブルク外相発言への反論](#)
- [3 オルバーン首相：ブルガリア訪問](#)

III 経済

- [1 8月の新車販売台数：前年同月比43.7%増](#)
- [2 イビデン・ハンガリー社：職業訓練センターとデュアルトレーニング協定を締結](#)
- [3 中央統計局：2016年第2四半期実質GDP成長率、2.6%増（確報）](#)
- [4 米系自動車サプライヤー：ジュール市への新規投資を発表](#)
- [5 ヴァルガ国家経済相：インターネット企業への源泉徴収税導入を提案](#)
- [6 ハンガリーのVAT脱税の割合が低下](#)
- [7 日系ミツバ社：新工場の開所式を実施](#)
- [8 Wizz Air：来春より新たに4都市への就航を開始](#)
- [9 スタンダード&プアーズ社：ハンガリーの格付けをBBB-に格上げ](#)
- [10 欧州委員会：ブダペスト・ベオグラード鉄道改修計画の調査を開始](#)
- [11 マトルチ中銀総裁：中国のシルクロード経済圏構想の重要性を指摘](#)
- [12 日系NHKスプリング社：新工場の開所式を実施](#)
- [13 ハンガリー中央銀行：四半期インフレ報告書公表](#)
- [14 欧州委員会：パクシュ原発の核燃料棒輸出について調査を開始](#)
- [15 米系P&G社：2億米ドルを新規投資](#)
- [16 マジャール・スズキ社：販売予測を上方修正](#)
- [17 シーヤールトー外務貿易相：ハンガリー・英ビジネス協議会設置を発表](#)

IV その他

- [・ハンガリー経済データ](#)
- [・2016年9月の選挙・支持政党に関する世論調査](#)
- [・2016年9月の出来事](#)

※本資料は当該月間のハンガリー紙等の報道をベースにとりまとめたものです。

I 内政

1 移民・難民問題を巡る国内の動き

(1) 国民投票を巡る新たな政府キャンペーンの開始（1日以降）

難民割当て受入れの是非を問う国民投票に向けて、「ハンガリーの未来を危険にさらしてはいけない！「いいえ」と投票しよう！（注：国民投票で対象となる質問は、「あなたは、EUが国会の承認なしに、非ハンガリー人のハンガリーへの強制的な移住を定めることができることを望みますか。」）」を主要なメッセージとする新たな政府キャンペーンが開始され、新聞、雑誌及びオンライン上の広告掲載や街中への看板広告設置に加え、ハンガリー国内の全世帯へのパンフレットの配布、国内及び在外ハンガリー人に対する書簡の郵送等がなされた。同パンフレットは18頁に及ぶカラー印刷の冊子で、EUによる強制的な難民の割当ては深刻な経済、文化及び安全保障上のリスクを抱えており、国民投票で「いいえ」と投票することによってEUを止めなければならない旨等の説明が写真や図表とともに記載されている。

(2) 国民投票を巡る政府作成パンフレットに対する配布停止命令（12日）

国家選挙委員会（NVB）は、国民投票を巡る政府作成パンフレットが、出版と編集に対して責任を負う個人の名前を記載していないことから違法であるとして、配布を停止するよう命じた。これに対し、ドゥムトゥル首相官房政務次官は、政府はパンフレットに対し、要すればテクニカルな情報を補完すると述べた。

(3) 政府作成パンフレットに対する各国大使館の反応（21日以降）

シーヤールト外務貿易相は、英BBCによるインタビューの中で、国民投票を巡る政府作成パンフレットがロンドンを始めとする欧州の大都市に移民受入れによって治安が悪化した数百の「ノー・ゴー・ゾーン」が存在するとしていることに対し、駐ハンガリー英国大使から抗議が寄せられた旨述べた。

同パンフレットは独、仏、ベルギー及びスウェーデンにも「ノー・ゴー・ゾーン」があるとしており、複数の在ハンガリー外国公館がハンガリー外務貿易省に対して説明を求めたとされている。

2 世論調査：国民の58%が2024年オリンピックのブダペスト招致に賛成（12日）

世論調査会社「イプソス」が実施した世論調査によれば、2024年オリンピック・パラリンピックのブダペスト招致に関して、国民全体の58%が賛成、31%が反対しており、11%はわからないと回答した。

また、ブダペスト在住者の54%が賛成、39%が反対と回答したのに対して、地方都市在住者の59%が賛成、30%が反対であると回答した。さらに、2024年オリンピック・パラリンピックがブダペストにて開催された場合、2016年リオ・オリンピック・パラリンピックと比較して、27%がより高い水準のオリンピックを開催できるだろう、38%が少なくとも同様の水準のオリンピックが開催できるだろうと回答した。同調査のサンプル数は18歳以上の市民1,000人。

Hungary

3 **ブダペスト市内における爆発事件の発生** (24日)

22時半頃、ブダペスト市6区テレーズ環状通り2番付近路上にて、制服警察官2名がパトロール中、何者かによって用意されていた手製爆弾が爆発し、警察官のうち1名が重傷、1名が軽傷を負った。ハンガリー国家警察は、被疑者は身長約170cm、年齢が20～25歳で、明るい色の帽子、暗い色のジャケット及び青色ズボンを着用と発表、事件に関する有力情報に対して1千万フォリントの懸賞金を用意した。なお、オルバーン首相はこの爆弾事件に関して、移民危機との関連性を否定している。

II 外交

1 **オルバーン首相：セルビア訪問** (5日)

オルバーン首相はセルビアを訪問し、ブチッチ・セルビア首相と会談、西バルカンルートで昨年のような大量の移民流入が再び起こり得るとして、セルビア国境管理への協力をブチッチ首相に提案した。

ブチッチ首相は、ハンガリーとの関係は極めて良好であるとし、セルビアのEU加盟に向けた取り組みに対するハンガリーの支援に感謝を表した。

2 **シーヤールトー外務貿易相：ルクセンブルク外相発言への反論** (13日)

シーヤールトー外務貿易相は、アセルボーン・ルクセンブルグ外相が独紙Die Weltにおけるインタビューの中でハンガリーの難民対応を「動物以下の扱い」等と批判し、EUの基本的価値に対する多大な違反は受入れ難く、EUから追放すべきと述べたことに対し、声明を発表して反論した。その中でシーヤールトー外務貿易相は、アセルボーン外相を軽量級の知識人で「説教じみて思い上がった欲求不満のニヒリスト」とし、EUからとうの昔に相手にされなくなったのはむしろ同外相の方などと批判し、ハンガリー人には「誰と住みたいか」について国民投票で声を上げる権利があると主張した。

3 **オルバーン首相：ブルガリア訪問** (13～14日)

ブルガリアを訪問したオルバーン首相は、ボリソフ・ブルガリア首相とともにフェンスが設置されているブルガリア・トルコ国境を視察、その後の記者会見で、「欧州の未来はブリュッセルではなくここブルガリア・トルコ国境で決まる」と述べ、EUはブルガリアの国境警備に1.6億ユーロの支援をすべきと発言した。また、V4も対ブルガリア支援に同意しているとしてEU非公式首脳会合で提案すると述べた。

III 経 済

1 8月の新車販売台数：前年同月比 43.7%増（2日）

8月の国内新車販売台数は、前年同月比 43.7%増の 7,181 台だった。また、今年 8 月までの国内新車販売台数合計は、前年同期比 24.9%増の 61,219 台となっている。

2 イビデン・ハンガリー社：職業訓練センターとデュアルトレーニング協定を締結（5日）

イビデン・ハンガリー社はブダペスト技術職業訓練センター（Budapesti Műszaki Szakképzési Centrum : BMSZC）とデュアルトレーニング（学生を受け入れ実地訓練を行う）に関する協定を締結した。本協定に基づき、本年度に 25～30 名の職業訓練学校の学生を受け入れ、工場で実地演習を行う予定。

同社は、この実地演習を通して、実用的な知識を習得し、質の高い適切な技能を身につけた労働者の獲得を期待している。これまで学生の研修を受け入れており、労働者獲得の成果が出てきたことから、今般、取り組みを拡大した。

3 中央統計局：2016年第2四半期実質 GDP 成長率、2.6%増（確報）（6日）

2016年第2四半期実質 GDP 成長率の確定値が発表され、前年比 2.6%増（前期 1.1%増）（調整前）、前期比 1.0%増（同 0.5%減）（調整後）だった。

前年比数字の内訳を供給サイドで見ると、農林水産業 13.4%増（前期 3.7%増）、鉱工業 3.9%増（同 0.7%減）（うち、製造業 3.7%増（同 0.7%減））、建設業 23.6%減（同 27.5%減）、サービス業 3.3%増（同 3.0%増）（うち、卸小売り・宿泊・飲食サービス 7.7%増（同 6.3%増））だった。GDP 成長率に対する寄与度は、農林水産業 0.4%増、鉱工業 0.9%増、建設業 0.9%減、サービス業 1.8%増だった。

需要サイドでは、最終消費支出 4.4%増（うち、民間最終消費支出 4.6%増、政府最終消費支出 2.8%増）、総固定資本形成 20.0%減、国内需要 0.2%増、輸出 8.2%増、輸入 6.1%増だった。

4 米系自動車サプライヤー：ジュール市への新規投資を発表（9日）

米系自動車サプライヤーの Dana グループは、5,100 万ドルを投じて、ジュール市に新たなギア工場を建設することを発表した。2017 年第 1 四半期に建設開始し、2020 年までに 200 人の雇用を創出する計画。なお、同社はジュール市に 3 つの生産工場を有している。

ハンガリー政府は本件投資に対して 290 億フォリントの補助金を支給した。

5 ヴァルガ国家経済相：インターネット企業への源泉徴収税導入を提案（12日）

ヴァルガ国家経済相は、ブラチスラバにおいて行われた EU 財務相非公式会合の場において、グーグル、フェイスブック、アマゾンのようなインターネット企業に対して米国型の源泉徴収税を課すことを提案した。同相は、他の V4 諸国も本提案を支持して

Hungary

いると付言した。

6 **ハンガリーの VAT 脱税の割合が低下** (12 日)

欧州委員会の調査結果によれば、ハンガリーにおける VAT 脱税の割合は 2013 年の 22% から 2014 年は 18% と低下し、これは EU 内で 3 番目に大きな改善だった。ハンガリーは小売店のキャッシュレジスターと税務当局 (NAV) のオンライン接続や、陸上輸送管理システム (EKAER) の導入等の取組を行っている。

7 **日系三菱社：新工場の開所式を実施** (15 日)

日系三菱社は、シャルゴータリアーン市 (ハンガリー北部) の工場の生産設備及び倉庫を拡張に伴う新工場の開所式を行った。同開所式にはサボー外務貿易省副大臣も出席した。本件拡張工事には 1,352 万ユーロが投じられ、ハンガリー政府からは 278 万ユーロの補助金が支給される。

同社は、同市において現在 370 人を雇用しており、拡張工事が完了する 2017 年末までには新規雇用数は 150 人に達する予定である。

8 **Wizz Air：来春より新たに 4 都市への就航を開始** (15 日)

Wizz Air は、来年 4 月より新たに、ファロ (ポルトガル南部)、ハノーヴァー (独)、ベルゲン (ノルウェー西部) 及びラメーツィア・テルメ (伊南部) の 4 つの都市への就航を開始する旨発表した。

9 **スタンダード&プアーズ社：ハンガリーの格付けを BBB- に格上げ** (16 日)

スタンダード&プアーズ (S&P) 社は、市場参加者の予想に反して、2010 年以来約 6 年ぶりにハンガリーの外貨建て長期発行体格付けを BB+ 格 (格付け見通し「安定的」) から投資適格級 BBB- (同「安定的」) に格上げた。

なお、Fitch 社も本年 5 月に BBB- 格に格上げを行っている。ムーディーズ社のハンガリーに対する格付けは BB+ 格であるが、本年 11 月に格付けレビューが実施される予定。

S&P 社の公表内容の概要は以下のとおり。

- ・ハンガリーの 2016-2019 年の実質 GDP 成長率見通しに関し、前回格付けレビュー (本年 3 月) 時点の年平均 2% の予測から、年平均 2.5% に引上げ。2009 年以降、著しく対外収支が改善しており、2009 年以降は経常黒字が継続。
- ・政府の外貨建て債務割合及び自国通貨建て債務の非居住者に対する依存度が減少。ハンガリー政府の利払いコスト (対政府収入) はピークの 2012 年の 10% から 2015 年には 7% に減少し、今後さらに低下する。
- ・今後増加を続ける税収が、ハンガリーの経済成長及び財政にポジティブな影響を与える。
- ・個人消費を刺激するためのインセンティブ、EU 補助金の高い消化に対する意欲、パブリックワークススキームといった諸施策は、2013 年以降の循環的な景気回復局面をサポートする。

10 **欧州委員会：ブダペスト・ベオグラード鉄道改修計画の調査を開始** (16日)

欧州委員会（EC）は、中国資本によって実施されるブダペスト・ベオグラード鉄道改修計画が EU 競争法に抵触する疑いがあるとして調査を開始した。

本計画の実施機関は、ハンガリーと中国の政府間協定によって、MAV（ハンガリー国鉄）、China Railway International Corporation 及び China Railway International Group 傘下の合弁会社と明記されている。EC はこの点について、入札手続の欠如や MAV の役割の不透明さ（MAV は事業発注者であるが実施主体の合弁会社にも出資している）を理由として、EU 競争法に抵触する疑いがあるとし、侵害手続の第一段階にあたるいわゆる「パイロット・フェーズ」を開始した。同フェーズにて問題が解決されない場合、正式な侵害手続が開始されることになる。

一方、ラーザール首相府長官は、EC は鉄道改修計画と EU 競争法との関係を調べているのみであり侵害手続を開始したわけではないと主張、また、シーヤールト外務貿易相も、本件計画は EU の投資ガイドラインに沿って行われていると反論した

11 **マトルチ中銀総裁：中国のシルクロード経済圏構想の重要性を指摘** (16日)

マトルチ中銀総裁は、中国が進めるシルクロード経済圏構想の実現によりハンガリーの GDP は 2 倍になるとの見通しを、経済関係者との会議の場で述べた。同総裁は、シルクロードは 64 か国を通過し、それらの国々は世界の GDP の 40% を占めると指摘した。

ハンガリーは、昨年、欧州で初めて中国との間で「一带一路」の促進についての覚書を締結している。

12 **日系 NHK スプリング社：新工場の開所式を実施** (21日)

2015 年に新たに当地に進出した日系 NHK スプリング社（日本親会社名：日本発条）の新工場開所式が、タタ市（ブダペスト西約 60km）において行われた。工場面積は 12,000 m² であり、同開所式にはマジャル外務貿易省副大臣及びエーシック HIPA 長官も出席した。本件新規投資には 3,550 万ユーロが投じられ、ハンガリー政府からは 280 万ユーロの補助金が支給される。

2020 年までに年間 350 万本のスプリング、120 万本のスタビライザーを生産する計画。現在の従業員数は 30 人であり、今後、工場がフル稼働となった場合には、100 人を雇用予定。

13 **ハンガリー中央銀行：四半期インフレ報告書公表** (23日)

ハンガリー中央銀行は、四半期インフレ報告書を公表した。上半期の GDP 成長率の落ち込みは一時的なものとして、2016 年実質 GDP 成長率は前回（6 月）予測から修正せず、2.8% 増（2017 年も変更せず 3.0% 増）とした。

インフレ率は、2016 年 0.4% 増（前回予測 0.5% 増）、2017 年 2.3%（同 2.6% 増）で前回予測に比べ、下方修正を行っている。

失業率は、2016 年 5.2%（前回予測 5.8%）、2017 年 4.8%（同 5.3%）で前回予測よ

Hungary

り更に低下の見通し。

失業率低下による労働市場の逼迫を受けて、賃金上昇率は 2016 年 6.1%増（前回予測 6.0%増）、2017 年 6.5%増（同 6.0%増）で前回予測に続き上方修正を行っている。なお、民間部門の賃金上昇率は、2016 年 5.3%、2017 年 6.0%増の見通し。

14 **欧州委員会：パクシュ原発の核燃料棒輸出について調査を開始**（27 日）

ハンガリー政府が 2003 年に起きたパクシュ原子力発電所の故障によりダメージを受けた核燃料棒を露に 2014 年に輸出したことが、EU 法に抵触する疑いがあるとして、欧州委員会（EC）は侵害手続の第一段階にあたる「パイロット・フェーズ」を開始した。同フェーズにて問題が解決されない場合、正式な侵害調査に繋がりうる。

同年における露への輸送はウクライナを経由して鉄道で行われた。これに対して、野党「対話」のベネディク議員は、EU 法の下では、使用済み核燃料棒は使用された国において処理されなければならない、厳格な条件をクリアーした場合にのみ移転が可能である、しかしながら、ウクライナを経由した鉄道輸送は、同年におけるウクライナ危機の状況に鑑みれば安全性を有さないとして、EC に問題を提起していた。

15 **米系 P&G 社：2 億米ドルを新規投資**（29 日）

米系 P&G 社は、ハンガリーに新たに 2 億ドルを投資することを発表した。同社はジュンジュシュ市の工場（2014 年開設）において Braun ブランド製品のパッケージング及び Oral B ブランド製品の組立及びパッケージングを行い、また、チュムル村の工場（1991 年開設）の生産能力拡張を行う。これら 2 つのプロジェクトにより 250 人を新規雇用する。また、同社は、ハンガリー政府と戦略的協力協定を締結した。

P&G 社は、ハンガリーにおいて 1,200 人の従業員を雇用し、これまでに 3 億ドルを投資している。

16 **マジャー・スズキ社：販売予測を上方修正**（29 日）

8 月末までのマジャー・スズキ社の国内販売は 6,890 台で市場シェアは 11%、うち、ヴィターラの国内販売は、好調を維持し、昨年より 25%増の 4,346 台だった。これを受けて、マジャー・スズキ社は、本年の国内乗用車販売予測を 11,000 台に上方修正した。2015 年の販売実績は 7,500 台。

また、同社は、先月より SX 4-Cross のニューモデルの生産を開始した。

17 **シーヤールトー外務貿易相：ハンガリー・英ビジネス協議会設置を発表**（30 日）

シーヤールトー外務貿易相は、在英ハンガリー大使館に、ハンガリー・英ビジネス協議会を設置することを発表した。同相は、協議会の役割は、在英・ハンガリー企業及び在ハンガリー・英企業のそれぞれの市場におけるプレゼンスを高めることである旨述べた。また、同相は、ハンガリー政府は英国の EU 離脱後も英国で働くハンガリー人の利益を保護するための取組を行う旨付言した。

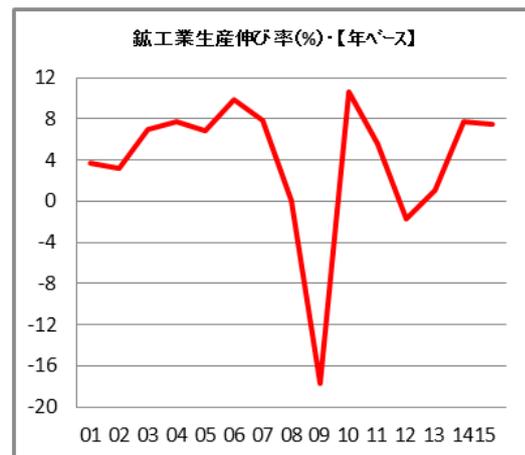
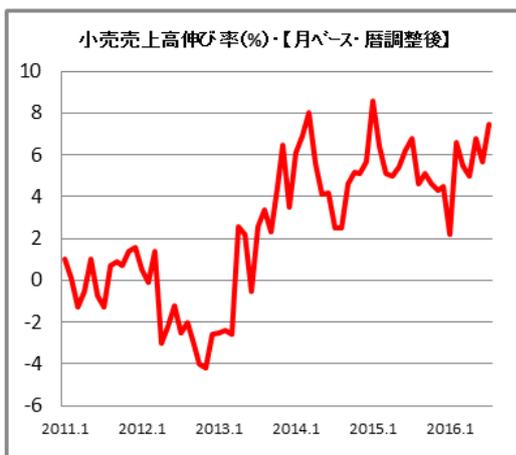
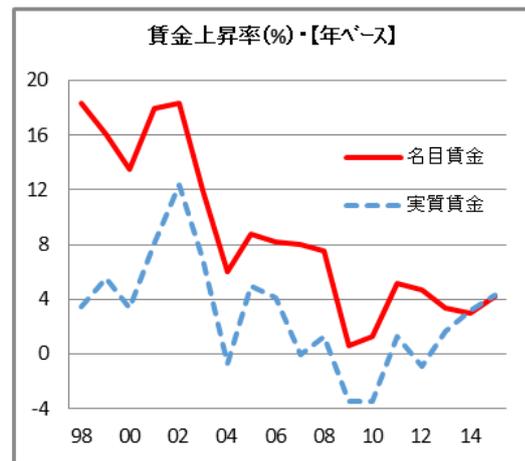
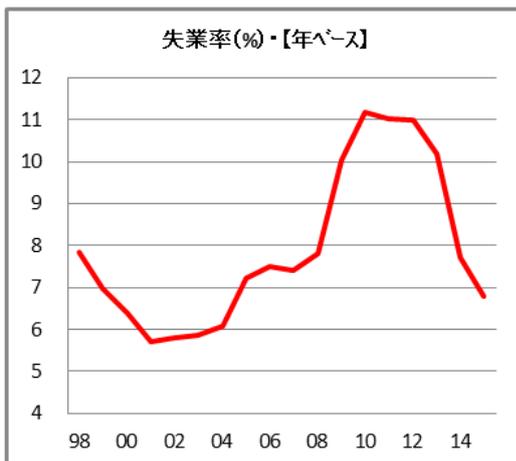
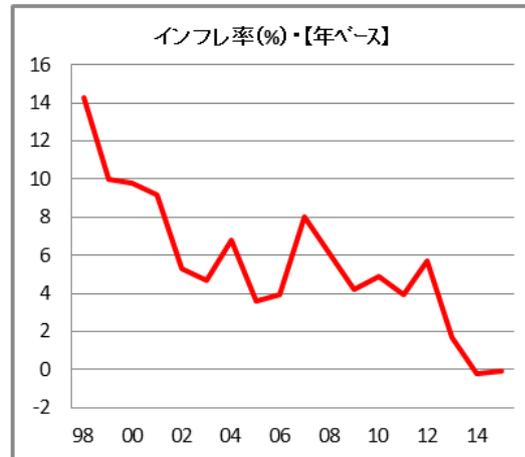
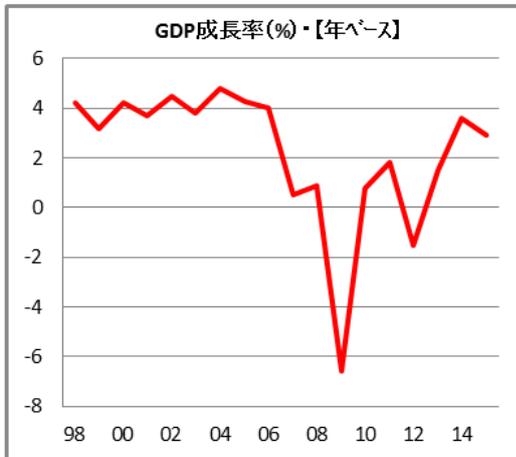
ハンガリー輸出入銀行はハンガリー中小企業が英国市場に参入することを手助けす

Hungary

るため、492 百万ユーロの信用供与枠を有している。

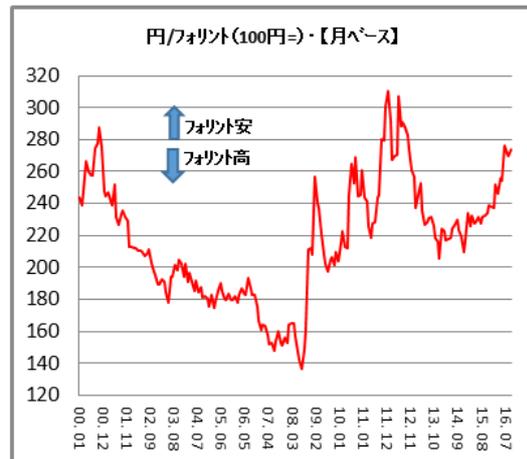
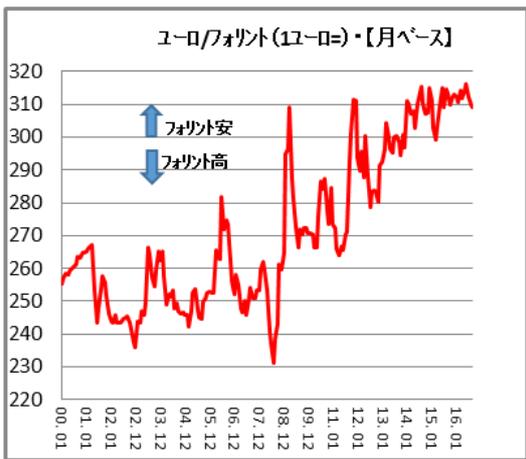
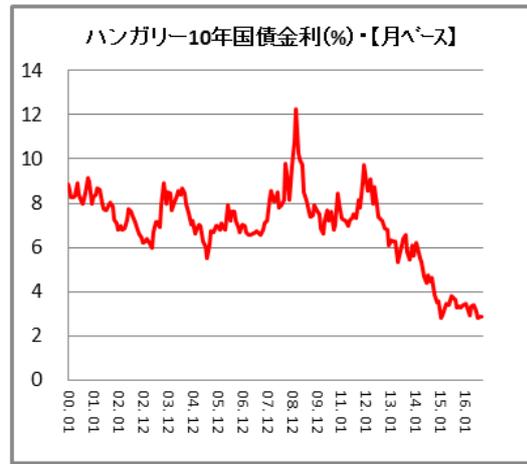
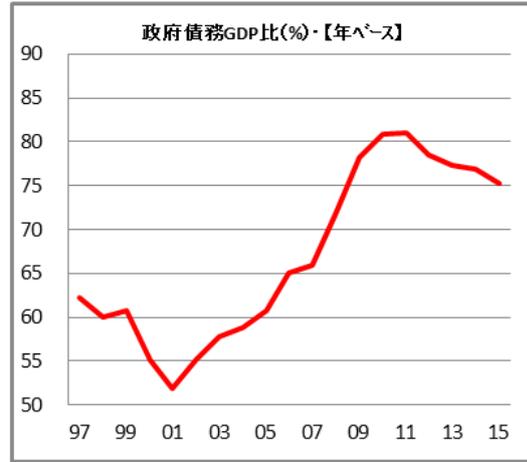
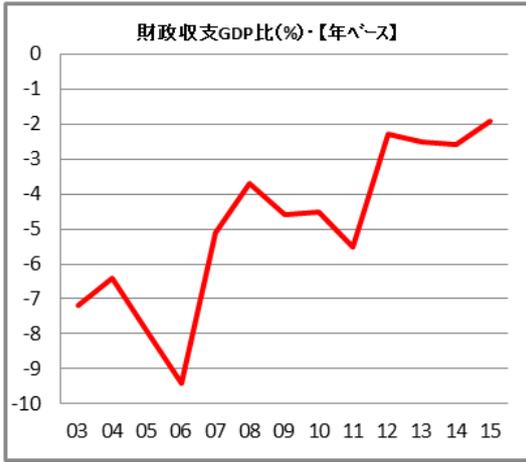
IV その他

《ハンガリー経済データ》



出所ハンガリー中央統計局, ハンガリー中央銀行

Hungary



出所ハンガリー中央統計局, ハンガリー中央銀行

《2016年9月の選挙・支持政党に関する世論調査》

(1) 全有権者における各政党支持率

	(7月)	(8月)	(9月)
フィデス (Fidesz)	: 31%	32%	36%
社会党 (MSZP)	: 10%	10%	10%
ヨッビク (Jobbik)	: 12%	12%	11%
新しい政治の形 (LMP)	: 5%	4%	3%
民主連合 (DK)	: 5%	6%	5%
共に (EGYÜTT)	: 1%	2%	2%
ハンガリーのための対話 (PM)	: 1%	0%	0%
その他の政党, 支持政党なし, 無回答	: 35%	34%	33%

(2) 「支持政党を有し、投票に確実に行く有権者」における各政党支持率については、9月は調査結果なし

(注) ネーズーポイント社調べ

(9月18日～21日データ収集, サンプル数: 18歳以上の市民1,000人)

Hungary

《2016年9月の出来事》

日	内政	日	外政
1	・国民投票を巡る新たな政府キャンペーンの開始	1	・【首相】 当地訪問のルムヒー・オマーン石油ガス大臣と会談 ・【外貿相】 ドイツ訪問
		2-3	・【外貿相】 EU 非公式外相会合出席（於：ブラチスラバ）
		5	・【首相】 【外貿相】 セルビア訪問
		6	・【外貿相】 ブレッド戦略フォーラム出席（於：ブレッド）
		7	・【大統領】 当地訪問のグラバル＝キタロビッチ・クロアチア大統領及びカイナック・トルコ副首相と会談 ・【首相】 V4 首脳会合及び「V4+ウクライナ」首脳会合出席（於：クリニツァ） ・【外貿相】 欧州評議会閣僚代理会合出席（於：ストラスブール）
		8	・【外貿相】 当地訪問のカニエテ欧州委員（気候変動・エネルギー担当）と会談
		9	・【外貿相】 セルビア訪問
		10	・【国会議長】 ポーランド訪問
12	・秋季国会開会	12	・【国会議長】 当地訪問のカルチェフスキ・ポーランド上院議長と会談
		13	・【首相】 当地訪問のトゥスク欧州理事会議長と会談 ・【外貿相】 モルドバ訪問
		13-14	・【首相】 ブルガリア訪問
		14-15	・【大統領】 第12回アライオロス・グループ会合出席（於：プロヴディフ）
		15	・【国会議長】 欧州・議会議長会議出席（於：ストラスブール）
		16	・【首相】 EU 非公式首脳会合出席（於：ブラチスラバ）
		19-23	・【外貿相】 第71回国連総会出席（於：NY）
		21	・【大統領】 第71回国連総会出席（於：NY） ・【国会議長】 モルドバ訪問
24	・ブダペスト市内における爆発事件	24	・【首相】 「難民首脳会合」出席（於：ウィーン）
		26	・【外貿相】 当地訪問のマルムストローム欧州委員（貿易担当）と会談
		27	・【外貿相】 米国訪問
		29	・【大統領】 ウクライナ訪問
		30	・【首相】 ペレス前イスラエル大統領の葬儀出席（於：エルサレム）

Hungary

E-Mail

政務関係 : political@bp.mofa.go.jp

E-Mail

経済関係 : economic@bp.mofa.go.jp

E-Mail

広報文化関係 : culture@bp.mofa.go.jp

E-Mail

領事関係 : consul@bp.mofa.go.jp